

プラチナ★シンガーズ  
Platinum Singers

～ 第一回演奏会 ～

# フォーレ レクイエム

[1893 version]

Introitus et Kyrie

Offertorium

Sanctus

Pie Jesu

Agnus Dei

Libera me

In paradisum

ヒロシマに捧ぐ――

# 土の歌

〔二〇〇九年改訂版〕

大木惇夫 作詞  
佐藤眞 作曲

農夫と土  
祖国の土

死の灰

もぐらもち

天地の怒り

地上の祈り

大地讃頌



指揮：青木洋也



ソプラノ  
澤江衣里



バリトン  
与那城敬

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

合唱：プラチナ★シンガーズ

2016年

8月6日(土) 2:00 pm 開演 [1:00 pm 開場 / 3:30 pm 終演予定]

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋駅西口直結：裏面に地図)

[JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。駅地下通路2b出口と直結しています。]

S席：4,000円 A席：3,000円 B席：2,000円 [全席指定]

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※開演時間を過ぎますとロビーにてお待ちいただく場合がございます。

【お問合せ】プラチナ★シンガーズ事務局

Tel/Fax 03-3367-2451 hzu04357@nifty.com

<http://platinumsingers.jimdo.com/>

# 年輪を重ねたからこそその音楽をお届けします

2015年1月、“プラチナ★シンガーズ”が東京と横浜に誕生しました。歌は、人そのもの、その人の人生が反映される。この考えのもと、あえて参加条件を65歳以上とし、人生の年輪を重ねてこられた人しかできない音楽創りを目指しています。第一回目に取りあげるのは、古今のレクイエムの中でも名曲中の名曲であるフォーレの「レクイエム」。今回は現在一般的に演奏されている第三稿ではなく、イギリスの作曲家、J. ラターにより再発見され校訂された当初のフォーレ自身の構想に近い室内オーケストラ版（1893年版）を取りあげます。もう一曲の「土の歌」は、大木惇夫の作詞による、原爆や天災の恐怖、度し難い人間の愚かさ、反戦の祈り、そして大地への感謝が描かれたまさに現代の黙示録ともいえる詩を、佐藤眞作曲による“混声合唱とオーケストラのためのカンタータ”としてダイナミックに歌い上げる日本合唱作品の金字塔ともいえる名曲です。この二曲を広島原爆忌である8月6日に演奏します。



Photo by EIJI SHINOHARA

## 指揮：青木洋也 AOKI, Hiroya

東京生まれ。東京藝術大学大学院で古楽演奏、エリザベト音楽大学大学院で宗教音楽学を学び、在学中より定期的に渡欧して研鑽を積む。宗教音楽を専門とし、J.S. バッハの《マタイ》《ヨハネ》の両受難曲や、多数のカンタータの独唱をつとめる。バッハ・コレギウム・ジャパンの主要メンバーとして国内外の公演・録音に参加し、2011年プレーメン音楽祭、2012年ライブツィヒ・バッハ音楽祭および2015年ラ・フォルジュルネ・オ・ジャポンの《マタイ受難曲》独唱で喝采を浴びた。ソロCDでは、2011年『大いなる神秘』（Regulus）、2013年『夜の祈り』（WAON RECORDS）、2014年『時が止まる / イギリス・リュートソング集』（Regulus）があり、2016年3月に4枚目となる『タケミツを歌う～フォルテピアノと共に～』（ALM RECORDS）を発売。近年は、合唱指揮者としても活躍しており、音楽誌上で「隙のない音楽づくりと、そのナンバーにふさわしい情景描写的確さ、声楽・器楽の見事なまとめ方は、彼の適応性とこれまでの経験の基盤がモノを言っている」と高く評価されている。2009年にはライブツィヒ・トマス教会において バッハのモテット演奏会（Bachchor Leipzig）の指揮者をつとめた。2013年2月ニューヨーク・カーネギーホールにてヴェルディ《レクイエム》、2015年1月にジュネーブ・ヴィクトリアホールにてヘンデル《メサイア》、3月にライブツィヒ・聖ニコライ教会にてバッハ《ヨハネ受難曲》を指揮し大成功へと導いた。

青木洋也ブログ <http://hiroct.exblog.jp/>

## 合唱：プラチナ★シンガーズ

青木洋也を音楽監督とし、全練習を彼が指導する合唱団として2015年1月、東京と横浜にそれぞれ誕生した65歳以上で合唱経験者に限定した合唱団。青木洋也による独特の発声指導と決して妥協しない指導が、練習を重ねる毎にプラチナ★シンガーズならではの響きを生み出している。

音楽監督・常任指揮：青木洋也

ピアニスト：河内菜穂（東京） 山縣万里（横浜）

事務局：佐枝陽子 責任者：柴 大元



## 東京芸術劇場は、池袋駅と地下通路で繋がっています。

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅から徒歩2分。地下通路で2b出口と直結しています。

JR で来られる場合は池袋駅の南改札を出て右折し直進下さい。



## ソプラノ：澤江衣里 SAWAE, Eri

島根県益田市出身。国立音楽大学声楽科首席卒業。東京藝術大学大学院修士課程及び博士課程修了。英国人作曲家R・ケルターの歌曲を研究し、博士号（音楽）を取得。声楽を佐藤峰子、永井和子の両氏に師事。現在、東京芸術大学声楽科教育研究所助手。バッハ・コレギウム・ジャパン（BCJ）のソリスト、声楽アンサンブルメンバーとして国内外の演奏会や録音に参加している。12年、BCJ主催の

メンデルスゾーン『パウルス』、15年、ラ・フォルジュルネ・オ・ジャポン『マタイ受難曲』ではソプラノソロを務め、好評を博した。オペラでは、08年小澤征爾塾、喜歌劇『こうもり』のイーダ役、13年北とぴあ国際音楽祭、歌劇『フィガロの結婚』のバルバリーナ役、15年2月オペラ『ヒト・マル』（寺嶋陸也作曲）娘役等を演じた。第47、48回山口県学生コンクール第一位入賞、及びコンクール大賞受賞。第9回全日本高等学校声楽コンクール第54回瀧廉太郎記念音楽祭第二位。第79回日本音楽コンクール声楽部門第二位入賞。第11回東京音楽コンクール二位入賞（最高位）。



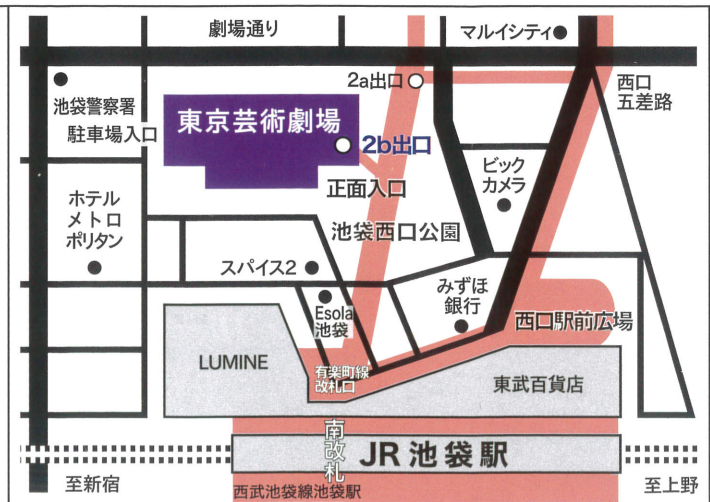
Photo by KEI UESUGI

## バリトン：与那城 敬 YONASHIRO, Kei

神戸市出身。兵庫県立西宮高校音楽科卒業。桐朋学園大ピアノ専攻卒業、同大学研究科声楽専攻修了。二期会オペラ研修所及び新国立劇場オペラ研修所修了。第11回世界オペラ歌唱コンクール「新しい声2005」アジア予選代表。第16回マリオ・デル・モナコ国際声楽コンクール第3位。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノへ留学。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位。06年二期会『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモで二期会デビュー。その後二期会『エフゲニー・オネーギン』タイトルロール、小澤征爾音楽塾特別コンサート『カルメン』エスカミーリョ、等に出演。近年では新国立劇場『愛の妙薬』ベルコレ、『鹿鳴館』影山悠敏伯爵、『沈黙』フェレイラ、『道化師』シルヴィオ、二期会『フィガロの結婚』伯爵、日生劇場『メディア』イアソン等に出演。コンポーザム2015ではサーリアホ『遙かなる愛』ジョフレ役を演じ高い評価を得た。コンサートではバッハ・コレギウム・ジャパン、読響第九、東響『カルミナ・ブラーナ』『大地の歌』、宗教曲等のソリストとしても活躍している。 <http://yonashiro-kei.com/> 二期会会員

## 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本のオーケストラとして最古の歴史をもつ。メンバー約140名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せ持つ。桂冠名誉指揮者チョン・ミョンフン、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ、首席客演指揮者アンドレア・パッティストーニ。定期演奏会等の自主公演、新国立劇場などでのオペラ・バレエ演奏、放送演奏、教育プログラムのほか海外公演でも高い評価を得る。2015年12月には日韓外交正常化50周年を記念してソウルと東京の2都市でチョン・ミョンフン指揮ソウル・フィルと合同演奏会を行い国内外の注目を集めた。



## 【チケット前売り】 5月16日（月）発売

### 東京芸術劇場ボックスオフィス

チケットは劇場窓口か最寄りのセブン-イレブンでお引取出来ます。

■窓口でのご購入 東京芸術劇場1階ボックスオフィス

○営業時間 10:00～19:00（休館日を除く）

■電話でのお申込み 0570-010-296（ナビダイヤル）

○営業時間 10:00～19:00（休館日を除く）

■インターネットでのお申込み 24時間受付

東京芸術劇場ホームページから <http://www.geigeki.jp/t/>